

出展団体名		東京海洋大学	
発表者所属		東京海洋大学 海洋科学部 海洋環境学科	
発表者氏名		酒井久治	
発表タイトル		マグロ延縄漁業における海鳥混獲の防止のための水中投縄機	
ねらい (選択)	<input type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し		
	<input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し		
	<input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し		
	<input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンサー）探し		
	<input type="checkbox"/> その他（ ）具体的に		
キーワード (4つまで)	①水中投縄機	②海鳥混獲	
	③マグロ延縄漁業	④環境保全	
要 旨 (アピールポイント)			
<p>マグロ延縄漁業では、マグロやカジキなどの対象魚種以外に、海鳥が釣獲される混獲されることを海鳥混獲といい、生物環境保全の見地からが問題になっている。これは、餌のついた釣針が海面に投入されてから沈降するまでの間に海鳥が捕食し、死亡する事例である。これを解決するには、餌のついた釣針を、海鳥の潜水深度より深い推進に釣針を放出できれば、海鳥混獲は著しく防止することができよう。このことから、餌のついた釣針を水深3メートル前後に直接放出する装置、すなわち水中投縄機を構築した。今後、本装置の不具合点を解決するとともに、周辺機器、たとえば自動給餌装置などの構築する予定である。</p>			
特記欄			